

ソーシャルメディアのプライバシー

はじめに

読者の皆さんは、知り合いがほとんどいないような部屋で、アカの他人に自分の家族構成や年齢、職場や学校のこと、ひいては健康上の悩みなどを熱心に叫ぶようなことはしないはずですが、物理的な部屋ではなくソーシャルメディアとなると、同じような情報を投稿することに抵抗がない方はいらっしゃるかもしれません。あまりにも多くの情報を共有しすぎると、仕事や生活全般に影響を与えるだけでなく、あなたの家族や友人まで波及することがあります。

ソーシャルメディアは、おたがいを認識し、情報を共有し、さまざまなことを学ぶことができる素晴らしいプラットフォームです。しかし、ソーシャルメディアのプライバシー設定がしっかりしていることが、完璧に自分を守る唯一の方法ではないということを知っておくと良いでしょう。いったんオンライン上に流れていったデータは、あなたがコントロールできる範囲を越えていきます。そのため、あなたの情報のうち何が収集され、どのように使用されているかを知っておくことは、とても重要なことです。ソーシャルメディアを利用する際には、プライバシーに関するいくつかの懸念があることを覚えておいてください。



プライバシー設定: ソーシャルメディアのサービス利用規約や、プライバシーポリシーを確認して慎重にプライバシー設定をすると同時に、これらが変更された場合は、すべてのプライバシー設定を確認するようにしてください。また、あなたの投稿を誰が閲覧できるかというプライバシー設定を施したとしても、すべての情報が収集されたあとでマイニングされ、ソーシャルメディアプラットフォームに保存されるということも忘れないようにしてください。



プライバシーツリー: どんなにソーシャルメディアの設定を強化したとしても、あなたの投稿を見ることができる友人や同僚のアクションを制限することはできません。あなたの投稿が、あなたの友人を介して他の人と共有される可能性があることを意識してください。



家族の話: 家族に関する情報の共有: 友人や家族について話をしたい人は少なくないでしょう。しかし、バースデーケーキの写真をほとんど投稿しなかったり、健康や行動に問題があることをほのめかすような投稿があると、いじめにつながる可能性があります。特に若い世代には、たった一つの投稿で、その後の私生活に大きな影響を与える可能性があります。



情報共有: 無償で使用できるサービスの場合、その対価にあたるのは、商品であるあなた自身であると言えます。ある調査によると、オンラインでのアクティビティが売られている可能性があることがわかりました。



位置情報: あなたがチェックインしたデータを分析すると、あなたの生活パターンなどを予測可能なプロフィールを作成することができます。また、投稿する画像や動画に含まれる位置情報にも注意を払ってください。



人工知能: AIとソーシャルメディアを組み合わせたマーケティングは最適な使い方です。マーケティング担当者は、ユーザーのオンラインアクティビティから収集した情報を利用して、前回検索したキーワードや商品と関連した広告をユーザーに提供できるようになり、より詳細な情報をユーザーから得られるようになりました。



デジタルな世界における死: 故人のアカウントが、生存者によって削除されることなく維持されている場合、悪意ある攻撃者にとって格好のターゲットとなります。個人のプライバシーはその人だけの問題ではありません。家族や友人に影響を与えることもあるということを理解してください。



不都合な情報開示: あなたのプロフィールや経歴をベースに、あなたが投稿している内容を組み合わせると、不都合な情報開示が行われる可能性があります。たとえば、オンラインサービスのセキュリティで採用されていることが多い、秘密の質問とその答えなどがあります。

プライバシーは、ソーシャルメディアアカウントのプライバシーオプションを設定するだけではありません。あなたと、あなたの友人が共有する情報が多いほど、企業や政府機関、および別のユーザー収集されたり、使用される情報は多くなります。自分自身を守る最善の方法は、自分が何を共有しているのか、他の人が自分について何を共有しているのかを考え、必要に応じて制限することです。

ゲストエディタ

キャシー・クリック は、フォーチュン500に名を連ねるグローバル企業において、セキュリティ意識向上プログラムの開発に14年以上の経験を有しています。キャシーは複雑な技術的な話題を理解しやすい言葉に置き換えて、オンラインの安全性を高める手助けをする仕事を気に入っています。



リソース

デジタル世界における継承問題について:

<http://www.sans.org/u/Z2G>

ソーシャルメディアを用いた詐欺:

<http://www.sans.org/u/Z2L>

バックアップを取得していますか?:

<http://www.sans.org/u/Z2Q>

OUCH!はSANS Security Awareness プログラムによって発行され、Creative Commons BY-NC-ND 4.0 licenseに従って配布されます。このニュースレターを再配布し、もしくは啓発資料としてご利用いただけますが、コンテンツの改変は認められません。 翻訳その他に関しては、www.sans.org/security-awareness/ouch-newsletter までお問合せください Editorial Board: Walt Scrivens, Phil Hoffman, Alan Waggoner, Cheryl Conley. Translated by: 時田 剛